

2014年6月 キューバ情勢

I 概況

1 内政

(1) 21日、閣僚評議会が開催された。

2 外交

(1) 13日、ラウル国家評議会議長は、ボリビアを訪問し、G77+中国首脳会合に出席した。

(2) 17日、ドス・サントス・アンゴラ大統領はキューバを公式訪問した。

II 内政

1 農業資材の自由販売

1日、特別行政区「青年の島」において、農機具、飼料等、農業生産に必要となる資材の自由販売が試験的に開始された。

2 フィデル前議長のメッセージの掲載

3日付当地紙グランマに、当国のバレーボール代表チームの元監督であるエウヘニオ・ヘオルヘ氏の死去に関するフィデル前国家評議会議長のメッセージが掲載された。

3 進学試験での不正行為

9日付グランマ紙他は、5月初旬にハバナ市内で実施された高等教育機関への進学を決める数学の試験問題で不正行為が行われたとの事案に対する調査を進めてきた結果、試験問題の漏洩及びその販売に直接関与した容疑で5名の教師を含む8名を逮捕した旨の高等教育省、教育省及び内務省連名の発表文を掲載した。

4 砂糖生産量の発表

11日、2013年12月－2014年5月の砂糖（粗糖）生産量は165万トンで、対前年比で3%増となった旨報道された。

5 違法出国計画に伴う殺人事件の発生

12日付当地紙グランマは、アルテミサ県にて発生した殺人事件に関する内務省発表を掲載した。同発表によれば、10日午後、バラコアの農場にて発見された4名の遺体は、外部からの支援を受けた違法な出国計画と関連性があるとのこと。また、14日付グランマに本件続報が掲載され、外部からの支援を受け違法出国を計画していたとみられる11人の身元が判明したと報じた。

6 キューバ農業用地事情

キューバ国家統計局（ONEI）が16日に発表した「土地利用概観2013年版」によれば、キューバの農業用地は6,342,400ヘクタール（ha）であり、そのうち2,645,000haが耕作地、2,650,000haが放牧地、残る1,046,000haが遊休地となっている。

7 新労働法の施行

2013年12月20日に開催された人民権力全国議会で可決した労働法（法律第116号）が6月17日の官報に掲載、18日施行された。

8 キューバ平均賃金の発表

17日付キューバ国家統計局（ONEI）の発表によれば、2013年のキューバにおける月額平均賃金は471キューバ・ペソ、対前年（466ペソ）比で1%増となった。

9 閣僚評議会の開催

21日、閣僚評議会が開催され、以下の報告等がなされた。

（1）2014年上半期の経済成長率は0.6%増の見込み、2014年全体の経済成長率は対前年比1.4%の見込みで、キューバ経済の成長は予想されたレベルには達していない。

（2）2014年上半期の国家予算の執行状況については、税収は当初見込みの1.3%増、支出は、当初見込みの97.8%に止まった。2013年予算においては、歳出の66%が教育、医療、文化、芸術、スポーツ及び社会保障に充てられ、財政赤字は10億1,700万ペソに達した。

（3）協同組合については、2013年4月以降、498の協同組合の創設が承認され、本年5月までに249の協同組合が実際に設立された。また、自営業者については、本年5月までに登録された人数が46万7千人を超えた。

10 フィデル前議長の手紙の公開

23日付 Cubadebate（キューバ政府公式メディア）に、フィデル・カストロ前国家評議会議長のマラドーナ宛ての手紙（23日付）が掲載された。

11 新外国投資法の施行

3月29日に開催された人民権力全国議会において全会一致で可決した外国投資法（法律第118号）が6月28日、施行された。

12 新車等販売状況

30日付 Cubadebate は、キューバの自然人及び法人が、政府発行の許可証を取得することなく車輛を購入できることを認めた政令第320号が施行された2014年1月3日以降、約半年

間で、計50台の車両及び4台のバイク（合計約130万兌換ペソ）が販売された旨報じた。

III 外交

1 バルデス・メサ副議長のエルサルバドル訪問

バルデス・メサ国家評議会副議長はエルサルバドルを訪問し、1日、大統領就任式に出席した。

2 「サハラ・アラブ民主共和国」大統領の当地訪問

Mohomedo Abdelaziz「サハラ・アラブ民主共和国」大統領はキューバを実務訪問し、2日午後、ラウル国家評議会議長と会談した。

3 ウリセス・ギラルテ CTC 事務局長等のジュネーブ訪問

3日、ウリセス・ギラルテ・キューバ労働者連合（CTC）事務局長及びゴンサレス労働社会保障大臣はジュネーブを訪問し、開催中の第103回国際労働機関総会に出席した。

4 ロドリゲス外相のベネズエラ訪問

ロドリゲス外務大臣はベネズエラを訪問し、10日、第13回米州ボリバル同盟（ALBA）政治審議会に出席した。同会合においてロドリゲス外相は、ベネズエラに対する外部からの介入やクーデターの試み等との戦いにおける、キューバのベネズエラ国民に対する支援を表明した。

5 ラウル議長のG77+中国首脳会議出席

13日、ラウル国家評議会議長は、G77+中国首脳会合に出席するため、ボリビアを訪問した。14日には、サンタクルス市内にあるサッカー場で行われた式典で挨拶を行い、また15日には、G77+中国首脳会合に出席し演説を行った。その他、ラウル議長は、潘基文国連事務総長、ラージャパクサ・スリランカ大統領、Eshagh Jahangiri イラン副大統領、フェルナンデス亜大統領、マドゥーロ・ベネズエラ大統領と会談を行った。

6 アンゴラ大統領のキューバ訪問

17日、キューバを公式訪問したドス・サントス・アンゴラ大統領は、18日、ラウル議長と会談を行った。会談の最後に、両国家元首立ち会いのもと、今次訪問に同行したシコティ外相とカブリサス副議長により、2014年-2017年（当館注：19日付グランマ紙は2014年-2017年と記載しているが、同日付フベントウ・レベルデ紙は2014年-2016年と記載）の民間建設及び公共事業における新たな工事の入札に関する覚書への署名がなされた。

7 アラン・グロス氏に関する外務省声明の発表

18日、アラン・グロス氏の母の死去に関するビダル外務省米国総局長による声明が発表された。

8 米務省人身取引報告書に対するキューバ外務省非難声明

21日、米国務省が発表した人身取引報告書において、キューバが最低ランクのカテゴリーに位置づけられたことに対するビダル外務省米国総局長による非難声明が公表された。

9 ベラルーシ外相のキューバ訪問

23～25日、マケイ・ベラルーシ外相が当国を公式訪問し、ロドリゲス外相やマルミエルカ外国貿易・外国投資大臣と会談した。マルミエルカ大臣との会談後、見返り貿易に関する協定、及び、医薬品の登録の相互承認及び生産協力の促進を図る合意書に署名した。また、マケイ外相はラウル・カストロ国家評議会議長を表敬し、二国間関係の現状及びその展望について意見交換した。

10 セントクリストファー・ネービス首相のキューバ訪問

23～26日、ダグラス・セントクリストファー・ネービス首相はキューバを公式訪問した。当地滞在中、ダグラス首相はラウル国家評議会議長と会談し、また、同国の在キューバ大使館開館式典に出席した。

11 バルデス・メサ国家評議会副議長のアフリカ訪問

バルデス・メサ国家評議会副議長はガボンを公式訪問し、アリ・ボンゴ大統領及びオナ・オンド首相と会談した。その後、25日から26日、第13回アフリカ連合首脳会議に出席するため赤道ギニアを訪問し、ドラミニ・ズマ・アフリカ連合委員長と会談を行った。また、赤道ギニア訪問後、同副議長はコンゴ共和国を公式訪問した。

12 亜副大統領のキューバ訪問

26～27日、ボウドウ・アルゼンチン副大統領はキューバを公式訪問し、ディアスカネル国家評議会第一副議長と会談した。同副大統領訪問中の26日、キューバ外務省は、米投資ファンドへの返済を命じた米最高裁の判決を非難し、アルゼンチンを支持する声明を発表した。

13 シェリット社の契約延長

カナダのシェリット・インターナショナル社は、プエルト・エスコンディード／ユムリ陸上鉱区（マタンサス県）における石油・ガスの生産に係るキューバ政府との契約を10年間延長したと発表した。これにより、同鉱区における契約は、現契約の2018年から2028年3月まで延長された。

14 要人来訪

(1) Mohamedo Abdelaziz「サハラ・アラブ民主共和国」大統領

- (2) ドス・サントス・アンゴラ大統領
- (3) マケイ・ベラルーシ外務大臣
- (4) ダグラス・セントクリストファー・ネービス首相
- (5) ボウドウ・アルゼンチン副大統領

15 要人往訪

- (1) バルデス・メサ国家評議会議長のエルサルバドル訪問
- (2) ウリセス・ギラルテ・キューバ労働者連合（CTC）事務局長のジュネーブ訪問
- (3) ゴンサレス労働社会保障大臣のジュネーブ訪問
- (4) ロドリゲス外務大臣のベネズエラ訪問
- (5) ラウル国家評議会議長のボリビア訪問
- (6) バルデス・メサ国家評議会副議長のガボン、赤道ギニア及びコンゴ共和国訪問